

区西部透析災害対策連携講演会

日時：2018年 9月 25日(火) 19:00～

場所：TKP 新宿モノリスカンファレンスセンター

〒163-0990 東京都新宿区西新宿 2-3-1 モノリスビル TEL：03-5320-8721

開会挨拶：東京都透析医会 副会長 菅野 義彦 先生

総合司会：東京都区部災害時透析医療ネットワーク 区西部ブロック長 若井 幸子 先生
代表世話人 菊地 勘 先生

特別講演① 19:05～19:45

座長：東京都透析医会 災害対策委員会 委員長 花房 規男 先生

『東京都区部ネットワークの災害対策への取り組み』

～三多摩地区、医会、技士会との連携について～

東京都区部災害時透析医療ネットワーク 代表世話人 菊地 勘 先生

特別講演② 19:45～20:25

座長：国立国際医療研究センター 腎臓内科 診療科長 日ノ下文彦 先生

河北医療財団 河北透析クリニック センター長 青木 尚子 先生

『今のうちに考えておこう！透析医療における都市型災害対策』

～透析施設連絡網から透析患者合併症管理まで～

東京都区部災害時透析医療ネットワーク 区西部ブロック長 若井 幸子 先生
東京医療生活協同組合 新渡戸記念中野総合病院腎臓内科部長 野田 裕美 先生

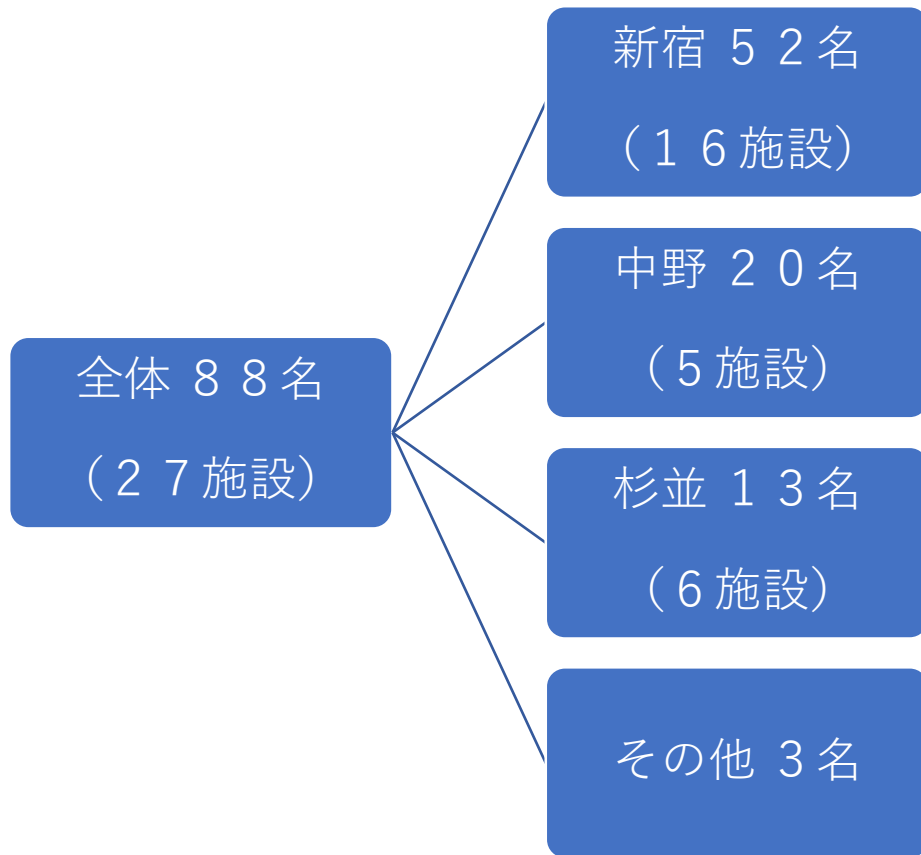
総合討論 20:25～20:55

～ 総合討論 ～

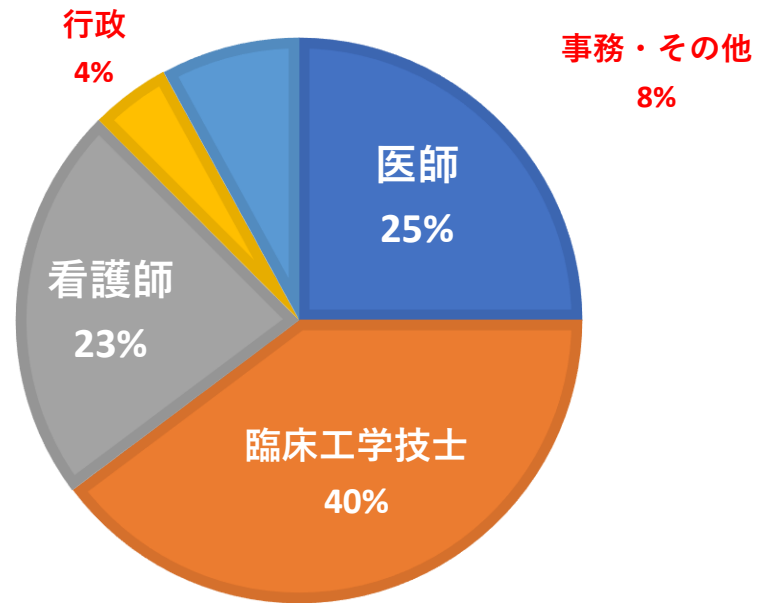
閉会挨拶：慶應義塾大学医学部 血液浄化・透析センター 准教授 吉田 理 先生

共催：東京都災害時透析医療ネットワーク区西部ブロック、中外製薬株式会社

参加者まとめ



27施設88名に参加頂け、職種内訳として臨床工学技士の割合が高かった。新宿区と杉並区の行政より2名ずつ参加頂ける。



職種	人数	
医師	22名	88名
臨床工学技士	35名	
看護師	20名	
行政	4名	
事務・その他	7名	

※行政：新宿②、杉並②

アンケートまとめ

区西部透析災害対策連携講演会【アンケート】			
※【アンケート】部分は差し支えない範囲の記入で結構です。内容は今後の会運営のみに使用させていただきます。			
2018年9月作成			
ご施設エリア		新宿・中野・杉並	
職種	医師・看護師・臨床工学技士・事務 その他()	ご所属	・病院 ・クリニック ・行政機関 ・他 ()
Q1	今回のセミナーは全体を通していかがでしたでしょうか。 また、内容に関してご意見ございましたらご記入頂けますでしょうか。		
	<input type="checkbox"/> 大変良かった <input type="checkbox"/> 良かった <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> いまいちであった <input type="checkbox"/> 悪かった 【今回のセミナー内容へのご意見】 ()		
Q2	透析災害対策テーマで、今後さらに聞いてみたい話はございますでしょうか。		
	<input type="checkbox"/> 特になし <input type="checkbox"/> あり ()		
Q3	区西部ブロックにおける今後の会合運営および透析災害対策に対するご意見・ご要望等ございましたら教えて頂けますでしょうか。		
	()		

参加者 88名

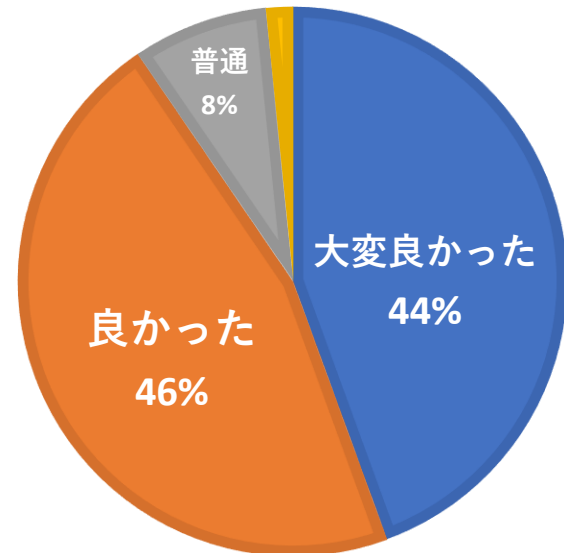
アンケート回収 63枚 (回収率79%)

※役割者除

コメント記入 42枚 (記入率67%)

Q：全体通していかがでしたか？

■ 大変良かった ■ 良かった ■ 普通 ■ いまいちであった ■ 悪かった



約8割のアンケート回収率。ほとんどの方がコメント記入され、災害対策意識・要望の高さが伺える。全体を通して、9割の方に評価頂ける。

アンケートまとめ

Q：今回のセミナーに対して

- ・わかりやすく良かった。
- ・まとまっていて理解しやすかった。
- ・以前聞いた内容と重複があった。
- ・区西部としての取り組み状況が理解できた。
- ・中野総合病院の災害対策が非常に参考になりました。
- ・今後の自施設災害対策に活用できる内容であった。
- ・情報交換の場としても有用であった。
- ・行政の方との意見交換ができてとても良かった。
- ・自施設は今まで、災害対策に積極的ではありませんでした。今日のセミナーを通して、取り組む意識が出てきました。
- ・区西部の取り組み状況が把握でき安心。しかし、実際対応できるか不安は残る。
- ・自施設でも具体的な災害対策を進めていく必要性を感じた。
- ・都全体として災害対策を考えている事がわかり良かった。
- ・区西部が被災した時の話と他地域被災の時の話とを分けて考えるべき
- ・質問タイムがもっと欲しかった。
- ・災害ネットワークやブロック内で必要となってくる取り組みがわかった。
- ・災害対策部分のスライドも欲しかった。
- ・防災無線での連絡について興味を持ちました。
- ・災害医療コーディネーターについて知ることができて良かった。
- ・中野総合の先生の講演を聞き、気付かされる事がたくさんあり、当院の参考にしたい。
- ・貯水槽や自家発電有無、医療救護所との兼合いといった具体的な問題が見えました。
- ・幹事ーサブ施設の透析ベット数の違いが心配

アンケートまとめ

Q：今後の聞いてみたい内容

- ・行政との具体的連携について
- ・災害時対応の具体例について
- ・区西部全体の災害対応トレーニング
- ・透析施設設備対策（停電、断水時）について
（ビル内クリニックの給水について、何階でも問題ないか？コネクタは？）
- ・実際に被災された施設の体験談
- ・各区の幹事病院の横のつながりや災害対策連携について
- ・防災訓練について
- ・電気事業所や水道局への連絡方法について
- ・区西部外との連携について
- ・災害時の食事について、患者への指導について
- ・医療コーディネーターと透析施設の具体的な連携について
- ・災害時情報の見える化
- ・区毎のグループミーティング機会
- ・患者の都外移送について
- ・患者の搬送方法について

Q：ご意見・ご要望

- ・連絡網の連絡先はどれを登録すべきか？ 施設代表番号なのか透析室直通なのか、指定頂けると助かります。
- ・技士会の災害MAPへのCE代表者登録がとても少ないので、各ブロックから働きかけて欲しい。
- ・新しい災害対策マニュアルに更新
- ・このような会合を定期的で開催し、顔の見える連携構築をしていきたい。
- ・行政との連携をもっと深く掘り下げてほしい
- ・医薬品卸として災害時に役に立てることがあるので、話し合いの場を一度設けて頂きたい。
- ・ブロック毎の情報伝達訓練